

## 袴野で学んだことを 誇りとして生きてほしい

素晴らしい歴史と伝統ある袴野小中学校は、平成24年度をもって、その歴史の幕を閉じることとなります。運動会や文化祭など、過去の活動を映像で振り返ったとき、学校と地域が一体となった歩みを重ねてきたことがよく理解できました。そこには子どもたちの真剣な活動と地域の方々の笑顔があふれていました。

豊かな人間性を育てるには、豊かな体験が必要です。袴野には、自然とふれあう場や学ぶことや働くことを実感できる多くの機会があり、人間的なふれあいに満ち溢れています。それがよき伝統を生み、素晴らしい卒業生を輩出することにつながったものと思います。

これから子どもたちは、袴野で学んだことを誇りとして、新しい歩みを力強く踏み出してくれるものと信じています。

ご尽力をいただいた関係者の皆様には謹んでお礼申し上げ、本校区の発展をお祈りいたします。



第36代袴野小中学校校長  
さとう こうすけ  
佐藤 浩介 先生

## これからも子どもたちを 見守ってほしい

袴野小中学校97年の歴史に幕を下ろすことは、大変残念でなりません。思い出多き学校も、年ごとに児童・生徒数が減少する中、PTAを中心に学校存続に向けた取り組みを行ってきましたが、最後は、子どもたちの将来を考えての判断となりました。

閉校事業では、記念誌、記念碑の各部会の実行委員が協力し合い、たくさん卒業生からご協力をいただき感謝申し上げます。

皆様にはこれからも、子どもたちがそれぞれの学校で「なかよく」「かしこく」「たくましく」をモットーに、一日も早く新しい生活に慣れるよう見守っていただきたいと思います。

本校の教育に携わっていただいた関係機関の皆様、大変長い間お世話になりました。閉校はしますが、体育館、グラウンドを活用しながら、この地域の発展につなげたいと思いますので、これからもご支援をよろしく申し上げます。



閉校事業実行委員会  
うえだ しげいち  
上田 秀一 委員長  
(御船町浅ノ藪)



### 袴野小中学校校歌

中川砂雄 作詞・作曲  
大格進 編曲

一 朝日に映ゆる 阿蘇が峰

永遠の煙を 仰ぎつつ

有明の海 遠方に見て

建つや袴野 我が母校

二 深き谷間の 鶯の

移りて峯を 唱うごと

われら手をとり もろとも

希望の道を いざゆかん

三 湧きて流るる 谷川の

たゆまず行きて 日進の

文化慕いつ ひたむきに

理想を追いて 進まなむ

